

松下純子通信



11月19日、第三定例議会で一般質問をおこないました。本当にたくさんの方々、議会に直接質問を来てくださり、ちからを与えてくださいました。(史上初の満席となりました。あらためて感謝いたします。)今回は質問の始めの部分と終わりの部分に手話を交えてご挨拶しました。本来は全部の質問を手話でできるようになりたいと思っています。私もこれからも区民のみなさまと区政をつなぐパイプ役になり、より豊かな文京区作りにできることから一つひとつ取り組んでいきたいと思っています。



手話をつかって第三定例議会の一般質問にたちました



1. ノーマライゼーションをめざして～障がいがあっても暮らしやすい街にするために～
 2. 文京区発「子育て応援プロジェクト」～子供を生み育てやすい街にするために～
 3. あなたの声を届けます～明るく住みやすい街にするために～
 4. 再開発事業について～みんなにいいが、きっとある～
- の大きく4点について一般質問をおこないました。

松下 問 光る点字、音響式信号機増設を！

光る点字ブロックや、音響式信号機の増設、横断歩道を安全に渡れるためのエスコートゾーンの導入など、障がいがあっても暮らしやすい街にする為に文京区独自の取り組みをすすめていきたい。

区長 答 エスコートゾーン及び音響式信号機の設置につきましては、地元要望などを踏まえながら、警察署及び関係機関と協議してまいります。光る点字ブロックはまだ試験的導入の段階なので、ひきつづき検証していきたい。

松下 問 病後児保育の充実を！

子育て世代にとって病後児保育の充実は、自治体ができる強力な子育て支援です。病後児保育の受け入れ人数増加と受け入れ箇所の増設を希望します。区内大学病院と連携を図り、病後児保育を充実するシステムを作っていくのはどうか。

区長 答 順天堂大学から旧元町小学校を仮校舎として借り受け、校舎において病後児保育事業に取り組みたいとの申し出がありました。今後順天堂と事業の実施に向けた交渉をすすめ病後児保育事業の拡充を図ります。

松下 同 児童館にランチタイムの導入を！

冬休みなどの長期休暇中、また土曜日に児童館でランチタイムを実施すれば、育成室に入らなくてよい選択が増え、育成室待機児童対策につながります。全児童館での実施を希望します。

区長 答

冬休みや土曜日を含めてのランチタイムの実施については、現在の活動と時間や場所が重なるという課題があります。この課題を解決するとともに、利用者ニーズを把握し、順次実施してまいりたいと考えております。

松下 同 街の中に休憩できる場所を！

住みやすい街づくりで、街の中に休めたり、腰掛けられる場所を作ってはどうでしょうか。街の中にもう少し気軽に休める場所があれば外出しやすいという要望が高齢者や障がいのある方、小さい子どものいる方から上がっています。

区長 答 バリアフリー事業で高齢者の休める場所として休憩施設の設置をすすめています。今後も必要性の高い場所については、通行の障害にならないよう、休憩施設の設置を検討してまいります。

その他の質問事項

- ◆ 区役所入り口から障がい者の方が行く機会が多いフロアへの誘導体の設置について
- ◆ 障がい者フロアに気軽に集まれるサロンの設置とサロンでの障がい者就労について
- ◆ 3人目の子どもに対して区からお米などを届ける子育て支援策について
- ◆ 高校生によるベビーシッター制度について
- ◆ 地域センタースペースの高齢者・子ども・地域活動による有効活用について
- ◆ シャッター通りのシャッターに絵を描いて街を明るく元気にする活動について
- ◆ シビックセンターに『文京区役所』の名称を併記することについて
- ◆ 再開発事業における周辺住民の理解促進と区の積極的なかわりについて

☆ **これからも松下純子は、区民と区政をつなぐパイプ役として、みなさまの声を区政に届けます** ☆



ブラインド体験をする機会をいただきました。目が見えないと普段何気なくできている事に何倍もの時間がかかります。外を歩くのがとても怖くてガイドヘルパーさんの介助無しには行動できませんでした。みなさんも街で目の不自由な方



を見かけたら、どうか優しい心遣いをしていただくと、とてもうれしいです。

☆ 区政に対するみなさまのご意見をお知らせください☆

ファックス 03-3814-1518
junko@matsushita.junko.jp



文京区福祉作業所の運動会



小石川作業所 一歩いっば祭り



いちょう祭りの純子かえる